

赤江 公民館だより

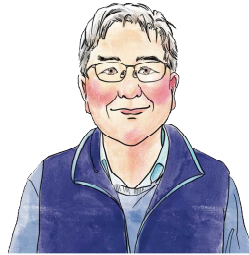
赤江地区民 みんなの合言葉

- 気持ちのよい あいさつを交わしましょう
- ごみを拾って きれいな町にしましょう
- 青少年の非行を防ぎましょう

赤江交流センター発行 TEL・FAX(0854)28-8982
メールアドレス akae.cs@city.yasugi.shimane.jp

No.202 令和8年6月号

館長のよもやま話



6月となりました。退職後、いつも感ずることですが、6月初めは、イチゴ栽培の終了に伴いその片づけ作業と田植えの準備と、短期間に作業が集中し、毎年うっとうしく思いながら過ぎて来たように感じています。今年も何とかやり切れることができました。と思ったら、交流センター事業も本格的に始まりました。

さて、5月後半の交流センターの活動を中心に報告します。

赤江小学校 学校運営会議

5月14日(木)、赤江小学校で「学校運営会議」、スクールコミュニティの一貫として昨年度から教育委員会の指導の下、開催されているものです。校長から学級数が減り、それに伴って教員数も減らされ、大変になるとの話もありました。合同総会で遠藤赤江教育後援会長から「地元の皆さんから子どもたちへの挨拶を」とのお話もありました。地域の皆さんで取り組みましょう。

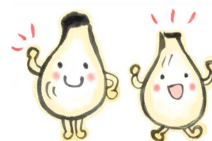
めだかクラブ 開講式

21日(木)、今年のめだかクラブの開講式とレクリエーション協会の方にお願ひしレクリエーションを行いました。今年から、安全面等を考え3年生以上で募集し、43名の希望者のうち、今回の参加者は20名でした。二人で協力し輪ゴムで紙コップ3個を運ぶ競技など行い、参加した子どもたち、みんな真剣そのもので取り組んでくれました。今年も、みんなで楽しく学年の枠を離れ取り組んでくれたらと思っています。ちょっと行き過ぎた子に対しては、つつい叱ってしまい、自分が情けなく思いますが。



前にもお話ししたかと思いますが、今年から赤江交流センターの使用されていない部屋がある時は、子どもたちの居場所として解放しています。使用するに当たり、来た時は「空いた部屋はありますか。」と聞かせ、名前を書かせ、最後には使った部屋を掃除させるよう、少し躾もしているところです。私がいる時は、必ず部屋

を一は覗くようにしています。少し騒がしいと、「静かにと」注意することもあります。先日、上級生と下級生が使っている時に、上級生のグループを静かにするよう注意したところ、下級生も注意してくれと言ってきたので、自分たちで「注意してくれ」と言ったこともあります。もうしばらくは子どもたちの居場所づくりに取り組みたいと思っています。



らっきょう漬け体験

25日(月)、今年で3回目となる地域ボランティアの皆さんを対象とした「らっきょう漬け体験」を行いました。講師は私の同級生で、掘りたてのらっきょうを用意してくれ、葉と根を切ることから体験してもらいました。皆さん1年分のらっきょう漬けが食べれると感想をもらいました。今回参加された皆さん以外にも、地域の皆さんには交流センターの様々な事業に対して、この1年お世話になると思っているところです。感謝。感謝です。



教室連絡会

27日(水)、今年各教室を主催されている代表の皆さんにお集まりいただき、使用上のことについてお話しし、その後、防災上のお話をし、消火器の模擬体験を行ってもらいました。私は、このそれぞれの教室活動が、本来の活動の中心であり、交流センター事業は補完的なもの、そして、その活動を赤江の皆さんにお知らせする場が「赤江文化祭」だと思っています。



「消火器の模擬体験」の様子

赤江小学校 運動会

30日(土)、「赤江小学校運動会」に招待され参観させていただきました。最初にもお話ししましたが、この時期我が家も忙しいので、応援合戦まで参観しようと思っていたところ、遠藤赤江教育後援会長が、帰られる素振りもなく、私も最後までいました。でも、最後までいたのが、今は良かったと思っています。遠藤会長もおっしゃっていましたが、「子どもたちが真剣に走ったりしている姿が、赤江の宝」、皆さんにも是非、その姿を見てもらいたいものと思いました。ひとつ上げれば、バトン渡しに失敗しながらも、そのあと、それにもめげず、一生懸命、前の走者に追いつこうという姿、感動的なものでした。



「赤江小学校 運動会」の様子

もち米の田植え

そして8日(月)、小学生の「もち米の田植え」です。我が家のような零細農家にとっても田植え作業は1年の始まりという思いがあります。今年も我が家の種まきに併せ小学生用の種まきを行って、1ヶ月あまり育て、その苗を田植えしてもらっています。今年初めて、当日の朝、3年生の教室で10分程度植え方等についての事前説明の時間をいただき、私自身ちょっと緊張しながらお話ししました。本当に、真剣にやろうという子どもたちの姿勢を感じました。午後の開催時間をボランティアの皆さんと待って



「もち米の田植え」の様子

ましたが、その直前、やや強めの雨で中止となりました。子どもたちも残念に思ったことでしょう。「線が曲がっている」とか言いながらも、ボランティアの皆さんで植えることにしました。おまけに、3年生の授業サポートのみとお願いした皆さんにも、小雨の中、「もう少し、植えておきますか」などと依頼し、放課後のめだかクラブの範囲も植えてもらいました。めだかクラブの時間には雨がやみ、ほんの少しだけの田植え体験をしてもらい無事終わることができました。本当にボランティアの皆さん、何の文句も言わず?、楽しみながら?と行ってもらえたこと、多分、赤江という地域の皆さんだからこそです。快く作業していただき感謝する限りです。秋の収穫を目指して管理作業をしていきたいと思っています。

赤江地区健康会議 総会

12日(金)、「赤江地区健康会議」を各自治会の健康委員や専門委員の皆さんにお集まりいただき開催しました。これまでは、総会に併せて、講演会を開催していましたが、今回は、安来市が今年度、見直された「第4次健康増進計画・第3次食育推進計画」について、いきいき健康課より説明をいただき、それに伴って赤江地区の健康増進計画も見直すことと致しました。そのための参考資料とするため、アンケート調査に協力いただきました。恥ずかしながら私ごとですが、館長するまで、この存在を全く知りませんでした。そう思うと、大学卒業後、農業をしていたころ、越前と出来須が指定され、米子医大の先生が定期的に来られ、健康相談していたことも、この一貫かなあと思いました。詳しくは、今後、「健康あかえ」で取り上げられると考えます。



「赤江地区健康会議 総会」の様子

笹巻き作り

毎年、この時期に健全育成協議会主催で「親子でチャレンジ笹巻づくり」を行っていますが、是非一度、教える側のスタッフが本格的な本巻きの作り方を学びたいとの意見があり、11日(木)に専門家2名を招いて、主事を含め6名が指導していただきました。それを受けて、13日(土)の午前中、UIターンの皆さんを含めた地域の大人の皆さんを対象に17名の参加で開催しました。今回初めて、市内で生活されている外国の家族も参加されました。私は午後の準備で、その姿を見ることができませんでしたが、楽しく取り組まれたように聞いています。その午後、例年通り健全育成協議会主催の「笹巻づくり」を小学生とその家族対象で行いました。21名9組の家族の皆さんに参加してもらいました。私は、以前、その専門家の方から本巻きの仕方を教わりましたが、全く理解できず、脱落した経験もあり、今回ひたすら、準備作業する羽目になりました。それでも小学生を含めて上手に仕上げることができました。それにしても子どもたちの学習能力の高さを改めて感じました。



「笹巻き作り」の様子

最後に、最近よく言われる日本の気候が二期となりつつあるとよく聞くようになりましたが、本当に5月から30度を超えるような日も見られるようになりました。交流センターの規則では、冷房開始は7月としています。どうもそれが難しい状況にあるように感じています。6月中に使用される場合、事務室と相談し必要なら可能と思っています。気持ちよく交流センターを使用していただきたいと思います。

お知らせ

7月の赤江交流センター行事予定

- 1日(水) **ちょこっと喫茶**(10:00~12:00)
昭和の懐かしいレコードを聴きながらちょこっとおしゃべり。毎月1日にオープンしています。
「ちょこっと行ってみるか」と気軽な気持ちでコーヒーを飲みに来てください😊
- 12日(日) **筋膜リリース ストレッチ教室**(10:00~11:00)
*詳しくは今月のチラシをご覧ください
- 17日(金) **あかえふれあい食堂**(12:00~14:30)
*詳しくは今月のチラシをご覧ください
- 26日(日) **女子カフェ**(10:00~12:00)
*詳しくは今月のチラシをご覧ください

交流センターの電話について

交流センターへ電話をかけると、公衆電話を介しているため一度コールした後、2、3秒無音になってから事務所内の電話につながります。ご不便をおかけしますが、ご理解いただきますようお願いいたします。

